

## 第6節 因佐賀家漁場で使用された灯火具類について

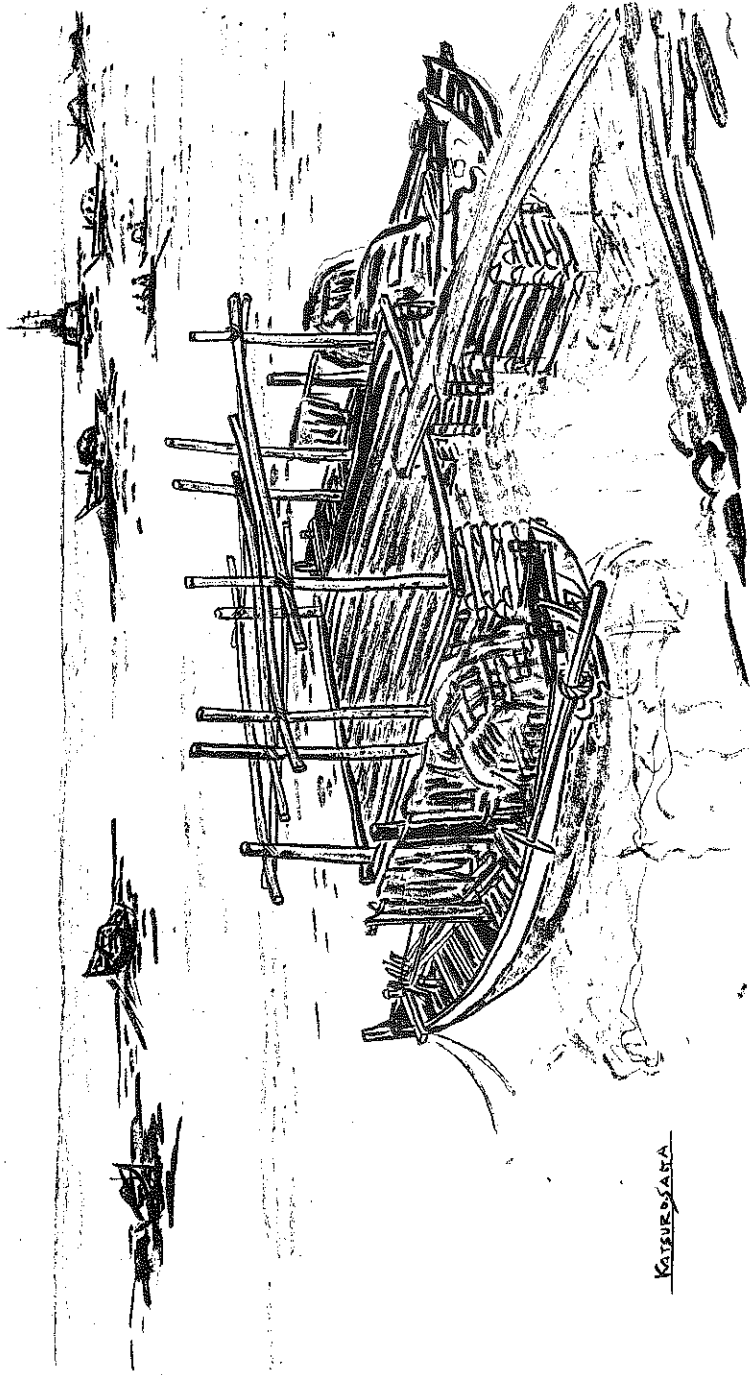
ニシン漁場において海上陸上を問わず、夜間における作業用照明・連絡・信号・標示に各種の灯火具が用いられた。

灯火具名	漁場での呼称	燃料	使用目的	使用年代	備考
弓張堤灯	堤灯	ローソク	陸上作業・連絡用	明治年代～昭和年代	保有。一部破損。家庭用としても使用。
樺火台	ブランタン	白樺の皮	沖揚時・海陸作業用	明治～大正後期	保有。
ガス灯	ガスランプ	カーバイト	海上・陸上作業用	明治後期～昭和年代	〃
〃	手提灯	〃	連絡及海上・陸上作業用	大正中期～昭和年代	〃
ハリケーンランプ	安全灯	石油	同上	大正初期～昭和年代	〃
〃	網印	〃	網の所在標示	昭和年代	浮き櫓に取付。
〃	潤印	〃	海上の安全路標識	大正初期～昭和年代	保有。陸上に設置し、柱上の枠に納める。
〃	枠印	〃	枠船の所在を標示	〃	枠を放たれた枠船に揚ぐ。
懐中電灯	手提電池 懐中電池	乾電池	陸上の見回りなど	昭和年代	保有。一般用及び防水用。
信号灯	信号灯	〃	海上の船から 陸への信号連絡	〃	保有、枠箱に組込まれた青・赤灯。
不燃堤灯	文化堤灯	ローソク	陸上の見回り他	昭和10年頃 ～15年頃まで	保有。一部破損。

- ・昭和10年～15年頃、不燃堤灯と称する雲母張りのものが一部の地方で使用された。
- ・灯火具の使用年代については夫々の漁場によって異なり、確定することは困難である。

(運上 光彦)

大漁 一  
一 漁場風景 一



KARUJANA

第66図 佐賀家漁場風景（船着場のセツの状況）